

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名		
一般		02	01	16	124620	賢治のまちづくり推進事業【全体】		
総合計画	分野	人づくり						
	政策	3-5	芸術文化の振興					
	施策	2	先人の顕彰					
目的		賢治さんの香りあふれるまちづくり						
対象		市民、観光客等						
意図		賢治および賢治の生誕地花巻の魅力を感じてもらう						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
賢治のまちづくり推進事業 ○賢治を学ぶ場づくり （事業）宮沢賢治賞・宮沢賢治イーハトーブ賞、賢治セミナー、企画展開催等 ○賢治イベントの開催 （事業）宮沢賢治生誕全国俳句大会、全国高校生童話大賞等、宮沢賢治創造演劇公演、賢治フェスティバル ○賢治の香りあふれるまちの整備 （事業）アートストリート事業、羅須地人協会駐車場整備、イギリス海岸リーフレット発行 ○賢治情報の発信 （事業）賢治カレンダー発行								
市民参画の有無 【対象外】								
市民協働の形態		共催		○ 実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛		補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①	セミナー等開催数	回	計画	44	43			
			実績	39	29			
②			計画					
			実績					
③			計画					
			実績					
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①	日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れることがあると思う市民の割合	%	目標	65.0	66.0			
			実績	62.0	63.6			
②			目標					
			実績					
③			目標					
			実績					
成果指標の達成度		目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）		
賢治賞・イーハトーブ賞、アートストリート事業、賢治セミナーのほか、童話村の森ライトアップやイーハトーブフェスティバルの継続実施により、市民の日常生活に賢治が浸透することになったと考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	より多くの市民、市外の方に賢治に興味をもってもらうためには、賢治を学ぶ、賢治に触れる機会と場を提供する必要がある、それには市が積極的にイベント等の開催や環境整備、情報発信を行う必要があり妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	イベントの開催や環境整備、情報発信を行うことで、賢治の作品や考え方に触れる機会が増大し、成果が向上すると考えられる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	国、県等の補助を最大限に活用するとともに、イベント等の開催では関連団体等との協同による実行委員会形式をとっており、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内、市外広く対象を設定しているため、受益機会と費用負担については公平と考える。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
既存事業の継続実施により、成果指標を向上させる機運が高まってきたものと推測される。今後は、この高まった機運を維持していくため、賢治初心者の方のすそ野を広げることを目標に、より多くの人に賢治に触れることのできる機会の創出と情報発信を行う必要がある。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	16	124620	賢治のまちづくり推進事業【全体】

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		20,299	82,799		62,500
財 源 内 訳	国・県	2,195			△ 2,195
	地方債				
	その他		43,606		43,606
	一般財源	18,104	39,193		21,089

※特定財源の内訳
宮沢賢治創造演劇公演入場料 286千円
まちづくり基金（H28イーハトーブ応援寄付金） 24,840千円
H29イーハトーブ応援寄付金 18,480千円

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標				
芸術文化の振興に努めます				
事業開始の背景・経緯				
花巻市の強みである宮沢賢治を活かしたまちづくりを推進するため、各課でそれぞれ行っていた宮沢賢治関連事業を平成24年度から「賢治のまちづくり推進事業」として位置づけ、統一した事業目的のもとに実施することとした。				
事業概要				
賢治のまちづくり推進事業				
○賢治を学ぶ場づくり				
（事業）宮沢賢治賞・宮沢賢治イーハトーブ賞、賢治セミナー、企画展開催等				
○賢治イベントの開催				
（事業）宮沢賢治生誕全国俳句大会、全国高校生童話大賞等、宮沢賢治創造演劇公演、賢治フェスティバル				
○賢治の香りあふれるまちの整備				
（事業）アートストリート事業、羅須地人協会駐車場整備、イギリス海岸リーフレット発行				
○賢治情報の発信				
（事業）賢治カレンダー発行				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				
賢治のまちづくり委員会をはじめとする賢治関連団体や地域の方々との連携を図りながら事業を実施する。また、市内外で行われるイベント等についても情報収集をし、ホームページ等で発信する。				

担当部署 部名 生涯学習部 課名 賢治まちづくり課 担当係長 佐々木 学 内線 365
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】
○賢治を学ぶ場づくり 10,310千円（△4,671千円）
・宮沢賢治賞・イーハトーブ賞：賢治まちづくり課 2,788千円 報償費1,989、旅費119、需用費357、役務費24、委託料299
・賢治セミナーの開催：生涯学習課 88千円 報償費66、需用費13、役務費9
・賢治の世界セミナー：賢治記念館 853千円 報償費400、旅費253、需用費200
・賢治の世界ワークショップ：賢治記念館 22千円 報償費22
・特別展：賢治記念館 6,512千円 報償費70、旅費163、需用費2,000、役務費127、委託料4,144、借上8
・宮沢賢治記念館各種記念事業：賢治記念館 47千円 報償費20、旅費27
○賢治イベントの開催 53,771千円（+50,801千円）
・宮沢賢治生誕祭全国俳句大会（補助金）：賢治まちづくり課 350千円 8/27グランシェール花巻
・全国高校生童話大賞（負担金）：賢治まちづくり課 2,000千円 作品募集期間6/15～9/15、審査発表11/24、表彰式12/24
・宮沢賢治創造演劇公演（3/10花巻市文化会館）：賢治まちづくり課 2,414千円 賃金10、需用費325、役務費526、委託料1,527、使用料26
・賢治フェスティバル（負担金）：賢治まちづくり課 49,007千円 ライトアップ 7/14～10/8の金・土・日（39日間） フェスティバル 8/26～27（2日間） ※余剰金1,969,069円は市に返還
○賢治の香りあふれるまちの整備 16,709千円（+16,403千円）
・賢治アートストリート：賢治まちづくり課 126千円 「あなたが思う宮沢賢治」と題した作品（絵画等）を児童、生徒、一般から募集し、新花巻駅から宮沢賢治記念館までの沿道及び童話村賢治の学校へ展示 報償費61、需用費65
・羅須地人協会駐車場整備事業：賢治まちづくり課 16,484千円 羅須地人協会見学用の駐車場整備 測量設計2,106、工事14,378
・イギリス海岸リーフレット発行：賢治まちづくり課 99千円 イギリス海岸を紹介するリーフレットの印刷 需用費99
○賢治情報の発信 2,009千円（△33千円）
・賢治カレンダー：賢治まちづくり課 2,009千円 賢治ゆかりの地（案内板紹介含む）やイベント日程等、賢治の情報を集約したカレンダーの作成（年2回） 印刷製本費2,009

平成 29 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

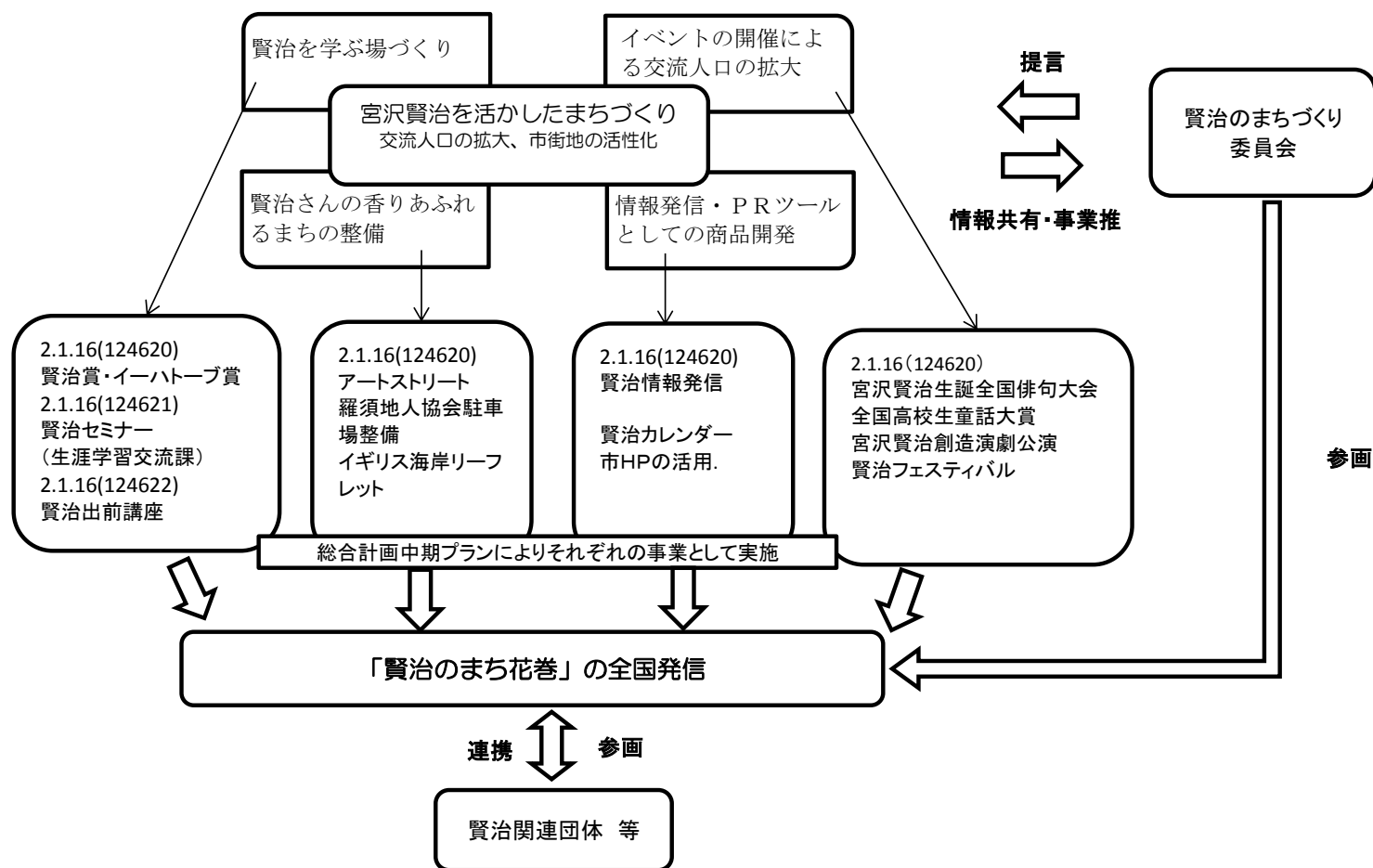
会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	16	124620	賢治のまちづくり推進事業【全体】

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◎平成29年度の流れ



平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	07	01	05	174500	宮沢賢治童話村整備事業		
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-5	芸術文化の振興				
	施策	2	先人の顕彰				
目的	賢治さんの香りあるれるまちづくり						
対象	市民、観光客						
意図	賢治及び賢治の生誕地花巻の魅力を感じてもらう						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○宮沢賢治童話村整備事業 《事業内容》 - 宮沢賢治童話村ステージテント張替 - 宮沢賢治童話村屋外施設改修設計（ステージ、キッチンブース） - 宮沢賢治童話村野外ステージ整備							
市民参画の有無 【 対象外 】							
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定			
		後援・協賛	補助・助成	委託			
活動指標（上記「事業概要」に対応）			単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	宮沢賢治童話村整備事業実施件数	件	計画			1	
			実績			1	
②			計画				
			実績				
③			計画				
			実績				
成果指標（上記「意図」に対応）			単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①			目標				
			実績				
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	宮沢賢治童話村は市の施設であり、市で整備を行うことが妥当である。
	☐ 妥当である	
	見直し余地がある ☐ 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	宮沢賢治童話村の整備を行うことによって、入館者の満足度が向上すると思われるほか、入館者の増加が見込まれ、賢治の作品や考え方に触れる機会が増える等向上の余地がある。
	☐ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	効率的な設計を行うことにより、事業費は最小限に抑えられると見込まれる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ☐ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	宮沢賢治童話村の整備により、市民や観光客にとって花巻の魅力が向上するため、受益機会と費用負担について公平であると考えられる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ☐ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
宮沢賢治童話村をはじめとする賢治関連施設及びその周辺の地域一帯を「賢治胡四王の森」と位置付け、賢治関連施設については、各館のコンセプトを明確にしている。 宮沢賢治童話村は「賢治さんと遊ぶ」をコンセプトにした施設であるが、生誕100年に整備された施設であり、整備後20年が経過し、施設の破損や機器の老朽化が進み、来館者の満足度の低下とともに危険性を考慮しなければならなくなっている。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	05	174500	宮沢賢治童話村整備事業

単位：千円					
		28年度 決算額 (A)	29年度 決算額 (B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		20,261	52,051		31,790
財 源 内 訳	国・県		19,361		19,361
	地方債		23,400		23,400
	その他				
	一般財源	20,261	9,290		△ 10,971

※特定財源の内訳	
地方創生拠点整備交付金	19,361千円
合併特例債	23,400千円

事業期間	☐ 単年度繰返 ☐ 期間限定	[平成 29 年度 ～ 平成 29 年度]
部重点施策における目標		
賢治さんの魅力あふれるまちづくりの推進		
事業開始の背景・経緯		
宮沢賢治童話村は、平成8年の賢治生誕100年を記念して整備された施設であり、施設・設備の老朽化が進んでいる。		
事業概要		
○宮沢賢治童話村整備事業 《事業内容》 - 宮沢賢治童話村ステージテント張替 - 宮沢賢治童話村屋外施設改修設計（ステージ、キッチンブース） - 宮沢賢治童話村野外ステージ整備		
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）		

担当部署 部名 生涯学習部 課名 賢治まちづくり課 担当係長 佐々木 学 内線 365
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】			
【事業内容】 - ステージテントは設置から14年が経過し老朽化進み補修を繰り返していたが、テント全体に係る損壊の危険性を考慮し張替を実施。 - 宮沢賢治童話村の活用促進を図るためにステージやキッチンブースの現状調査の実施や、ステージの大幅改修を実施。			
《実施業務内容》			
業務名	契約金額（円）	契約期間	完了日
ステージテント張替業務	4,446,360	H29.4.1～6.30	H29.6.30
屋外施設改修調査検討業務	3,302,640	H29.4.1～6.5	H29.6.5
野外ステージ建築地質調査業務	1,252,800	H29.11.16～12.15	H29.12.15
野外ステージ建築工事設計業務	1,350,000	H29.11.17～12.28	H29.12.27
野外ステージ部分解体及び撤去業務	1,630,800	H29.12.20～H30.2.28	H30.1.31
野外ステージ整備工事	39,312,000	H30.1.24～3.30	H30.3.30
野外ステージ整備工事監理業務	756,000	H30.2.1～3.30	H30.3.30
	52,050,600		

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名	
一般		10	05	01	104380	先人顕彰推進事業	
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-5	芸術文化の振興				
	施策	2	先人の顕彰				
目的		花巻ゆかりの先人紹介					
対象		市民、観光客					
意図		市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○共同企画展 平成29年12月9日から平成30年1月28日に開催							
○先人顕彰ギャラリー展 まなび学園・大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館で開催							
市民参画の有無 【 】							
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 共同企画展の開催館数	館	計画			4	5	
		実績			4	5	
②		計画					
		実績					
③		計画					
		実績					
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 共同企画展入場者数	人	目標			5,000	5,000	
		実績			3,165	3,456	
②		目標					
		実績					
③		目標					
		実績					
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
郷土の先人の功績について理解するため、市民が先人顕彰施設を訪れる状況を示すものとして設定した。 開催館が例年より増えたことから見どころが増え、入館者が増加したが目標には及ばなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市内各施設の企画展の開催時期を合わせることで、来館者へのサービスを図るもので公共関与は妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
有効性	成果の向上余地	知られていない先人は多く、市民へ広く紹介する機会を設ける。企画展の内容について連携することにより、市民をはじめ、より多くの来館者が訪問しやすくなる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
まだ知られていない先人が多くおり、この先人たちの偉業を調査し広く市民へ紹介する機会を提供した。 市民が地域の歴史や文化に触れることにより、改めて郷土に目を向け故郷の良さを再発見し愛着を持つようになった。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104380	先人顕彰推進事業

単位：千円

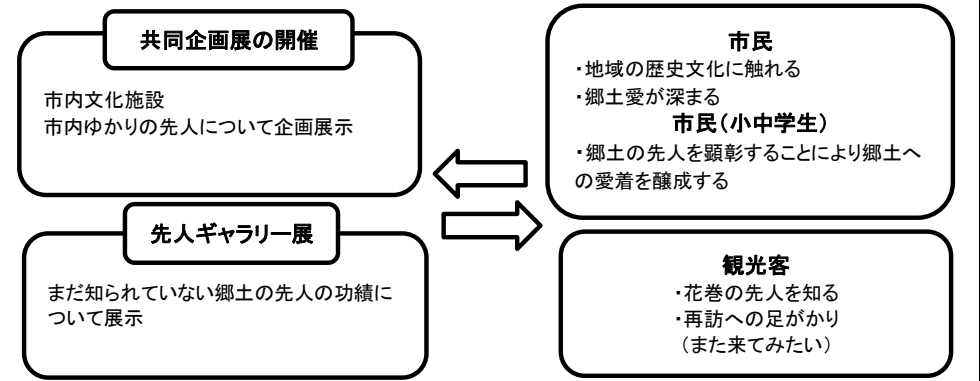
		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,703	3,072		369
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,703	3,072		369

※特定財源の内訳	

事業期間	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標			
芸術文化の振興を図ります。			
事業開始の背景・経緯			
市内文化施設の利用促進を図るため平成22年度から、各施設特別展の開催期間を合わせた共同企画展を開催している。			
事業概要			
○共同企画展 平成29年12月9日から平成30年1月28日に開催			
○先人顕彰ギャラリー展 まなび学園・大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館で開催			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 前田佐和子 内線 418
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



①共同企画展 3,016千円

【内容】 市内先人顕彰施設による、花巻ゆかりの先人について同時期に企画展を行った。
期 間：平成29年12月9日から平成30年1月28日
テーマ：花巻ゆかりの先人

施設	顕彰する先人	事業費	備考
萬鉄五郎記念美術館	寺島貞志	996	
花巻新渡戸記念館	新渡戸維民	186	
博物館	及川全三（染色家）	443	
総合文化財センター	大迫右近ほか	400	
高村光太郎記念館	高村光太郎	400	
共通経費	スタンプラリー、チラシ等	592	

②先人ギャラリー展 56千円

花巻の先人であり功績を残しながらも埋もれている先人を、広く市民に紹介した。
まなび学園、大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館を巡回して展示した。
○「メキシコ移民のリーダー 照井亮次郎 パネル展」
「榎本植民」、「日墨修好通商条約」、「榎本武揚」、
「三奥組合から日墨協働会社へ」、
「初のローマ字表記によるスペイン語辞典 西日辞典」
(期間) 平成30年2月7日から3月14日まで

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名	
一般		10	05	06	104500	宮沢賢治普及・啓発事業	
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-5	芸術文化の振興				
	施策	2	先人の顕彰				
目的	宮沢賢治に関する研究・創作等の資料を収集、保存、公開するとともに、調査研究を行い、広く学術及び文化の発展に寄与する。						
対象	市民、観光客及び全国の賢治研究者・愛好者等						
意図	宮沢賢治に関する情報の収集・提供や研究者・愛好者の交流により、賢治作品や研究成果にふれ、賢治の人と作品に対する理解を深め、賢治の普及に大きく寄与する。						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
宮沢賢治学会イーハトーブセンター事業補助 ・宮沢賢治に関する資料・情報の収集及び提供 ・定期大会、研究発表会・シンポジウム等の開催 ・研修会・講座等の開催 ・会員間の情報交流、研究活動への協力 ・宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考 ・宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞の決定 企画展の開催（宮沢賢治学会イーハトーブセンター委託） ・応募企画展 吉田精美のイーハトーブ真景 4月3日～6月30日 宮沢賢治と「アザリア」の仲間たち展 7月3日～9月30日 ・宮沢賢治記念館の特別展連携企画展 賢治とイーハトーブの樹木たち 10月2日～平成30年3月31日							
市民参画の有無		【 対象外 】					
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		○ 補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
① 企画展開催回数	回	計画		4	3		
		実績		2	3		
② 賢治セミナー開催回数	回	計画		3	5		
		実績		5	5		
③		計画					
		実績					
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
① 入館者数	人	目標		40,000	30,000		
		実績		28,329	24,959		
② セミナー出席者数	人	目標		400	500		
		実績		1,133	783		
③		目標					
		実績					
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
入館者数は、宮沢賢治記念館の来館者減の波及や修学旅行生の減等により減少した。 セミナー出席者数は、春季セミナーや地方セミナーの出席者が多かったことにより目標値を上回った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	学会は、市民からの提言をもとに、平成2年に「ふるさと創生事業」として設立されたものである。学会は、宮沢賢治の人と作品の普及に多大な寄与をしており、今後も学会が重要な役割を果たすものと思料されることから、公共関与は妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	興味・関心の深いセミナーや企画展を実施し、広報、PRを充実することにより、来館者数の減少を食い止め、セミナー出席者数の増加を図りたい。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	今までに市正職員の配置を無くし、学会職員に切り替えこの給与の補助をするなど事業費・人件費の削減に取り組み、最小限の経費と人員で実施していることから、削減できる余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	イーハトーブ館条例の設置目的等を踏まえ、宮沢賢治に関する講演会、研究会等を使用するほか、市民の学術・文化の発展に寄与する事業に使用するなど、統一した取扱いをしている。また、目的以外使用の使用料の取扱いを定め、統一的に運用している。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
イーハトーブ館に、宮沢賢治に関する図書・資料・論文等の情報が収集・保存・整理され、この情報を提供することにより情報拠点として重要な役割が果たされている。 また、企画展やセミナー、研究会等の開催により調査研究が深められるとともに、賢治を学ぶ場の提供により、市民を始め全国から多くの方が来館され、賢治を学びながら、交流が深められている。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	06	104500	宮沢賢治普及・啓発事業

単位：千円					
		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		11,288	11,338		50
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	11,288	11,338		50

※特定財源の内訳	

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標				
芸術文化の振興を図ります。				
事業開始の背景・経緯				
宮沢賢治学会は、花巻市民からの提言をもとに、「賢治宇宙・賢治精神の探求の最先端となる場」「単に研究者ばかりでなく、賢治の人と作品に関心のあるすべての人が自由に平等に交流でき、利用できる開かれた広場」にしたいという願いを込めて、平成2年に「ふるさと創生事業」として設立した。				
事業概要				
宮沢賢治学会イーハトーブセンター事業補助 ・宮沢賢治に関する資料・情報の収集及び提供 ・定期大会、研究発表会・シンポジウム等の開催 ・研修会・講座等の開催 ・会員間の情報交流、研究活動への協力 ・宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考 ・宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞の決定 企画展の開催（宮沢賢治学会イーハトーブセンター委託） ・応募企画展 吉田精美のイーハトーブ真景 4月3日～6月30日 宮沢賢治と「アザリア」の仲間たち展 7月3日～9月30日 ・宮沢賢治記念館の特別展連携企画展 賢治とイーハトーブの樹木たち 10月2日～平成30年3月31日				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				
芸術文化施設は、資料の展示・保存・収集や調査・研究の機能を有する社会教育施設であり、展示内容の客観性を維持する観点からも市の直営が望ましいと議会答弁している。				

担当部署 部名 生涯学習部 課名 宮沢賢治イーハトーブ館 担当係長 藤井 廣志 内線 31-2116
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】	
学会運営経費（H29学会決算額）	
総会費 総会の開催等	1, 3 4 9
理事会費 会議開催費	1, 1 0 7
委員会費 会議開催費	4 6 1
事務費	9 0 8
事務局人件費	3, 5 9 8
研究費 研究活動費等	4 7 1
普及費 企画展、セミナー開催費等	1, 9 5 1
機関誌発行費 機関誌・会報印刷、通信費等	4, 0 5 7
ホームページ運営費	5 3
資料費 図書資料購入費	1 8
賞選考費	6 0 7
合計	1 4, 5 8 0
①宮沢賢治学会イーハトーブセンター事業補助金 1 0, 2 3 8 千円 補助金算定内訳 学会運営経費（予算額） （企画展開催委託費、事務局人件費）× 1/2 + 事務局人件費 （18,036－1,100－3,540）× 1/2 + 3,540千円＝1 0, 2 3 8 千円	
②企画展開催委託料 1, 1 0 0 千円 応募企画展として「吉田精美のイーハトーブ真景」「宮沢賢治と「アザリア」の仲間たち展」、平成27年から開催している宮沢賢治記念館の特別展と連携した企画展「賢治とイーハトーブの樹木たち」を宮沢賢治学会イーハトーブセンターに委託し、宮沢賢治イーハトーブ館で開催した。	

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名		
一般		10	05	06	104510	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業		
総合計画	分野	人づくり						
	政策	3-5	芸術文化の振興					
	施策	2	先人の顕彰					
目的	賢治の香りあふれるまちづくり							
対象	市民、観光客							
意図	賢治及び賢治の生誕地花巻の魅力を感じてもらう							
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
宮沢賢治イーハトーブ館整備事業 ＜事業内容＞ 施設設備の補修 ・展示場天井扇取付業務 ・客電ホール調光盤取り替え ・屋上防水改修設計、工事								
市民参画の有無 【 対象外 】								
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛		補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）			単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業		件	計画	2	3		
				実績	2	3		
②				計画				
				実績				
③				計画				
				実績				
成果指標（上記「意図」に対応）			単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①	宮沢賢治イーハトーブ館入館者数		人	目標	40,000	40,000		
				実績	28,329	24,959		
②				目標				
				実績				
③				目標				
				実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
施設や設備の老朽化に伴う利用者の満足度の低下が利用者数減少の一因となったものと考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	宮沢賢治イーハトーブ館は市の施設であり、市で整備を行うことは妥当である。
	☐ 妥当である	
	☐ 見直し余地がある ☐ 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	宮沢賢治イーハトーブ館の整備を行うことにより、来館者の満足度が向上するほか、運営を行っている宮沢賢治学会イーハトーブセンターの事業遂行にあたっても達成度が向上すると思われる。
	☐ 向上余地がある	
	☐ 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費・人件費ともに必要最低限で行っているため、これ以上の削減余地はない。
	☐ 事業費の削減余地がある	
	☐ 人件費の削減余地がある ☐ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	整備により、市民や観光客にとって花巻の魅力が向上するため公平である。
	☐ 受益機会の見直し余地がある	
	☐ 費用負担の見直し余地がある ☐ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
宮沢賢治記念館をはじめとする賢治関連施設及びその周辺の地域一帯は「賢治胡四王の森」と位置づけられており、この地域内にある賢治関連施設については各館のコンセプトを明確にし連携を図りながら、広く市民や観光客等に利用されている。宮沢賢治イーハトーブ館は「賢治さんを学ぶ」をコンセプトにした施設であるが、平成4年の竣工以来20数年が経過し、破損や老朽化が進み、来館者の満足度の低下とともに宮沢賢治学会イーハトーブセンターの運営にも支障をきたしている。今後も利用者の満足度を向上させるために、施設機能の保全、向上及び施設の長寿命化を図るものとして整備は必要である。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	06	104510	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		5,794	20,390		14,596
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他		10,000		10,000
	一般財源	5,794	10,390		4,596

※特定財源の内訳
H29イーハトーブ応援寄付金 10,000千円

事業期間	単年度繰返	○	期間限定	[平成 27 年度 ～ 平成 30 年度]
部重点施策における目標				
芸術文化の振興を図ります				
事業開始の背景・経緯				
竣工から20年以上が経過し施設・設備の老朽化が著しく、利用者の満足度の低下だけでなく宮沢賢治学会イーハトーブセンターの運営にも支障を及ぼしかねない状況となっている。利用者の満足度向上につなげるために設備機能の保全、長寿命化を図る必要がある。				
事業概要				
宮沢賢治イーハトーブ館整備事業				
＜事業内容＞				
施設設備の補修				
・展示場天井扇取付業務				
・客電ホール調光盤取り替え				
・屋上防水改修設計、工事				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				

担当部署 部名 生涯学習部 課名 賢治まちづくり課 担当係長 佐々木 学 内線 365
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

宮沢賢治イーハトーブ館（老朽化）

宮沢賢治イーハトーブ館整備

来館者の満足度向上

入館者の増

賢治胡四王の森整備事業

賢治記念館など賢治関連施設及びその周辺を「賢治胡四王の森」と位置付け、各館のコンセプトを明確にしながら事業を実施する。

整備内容

H27	修繕	冷水ポンプ交換	}	済
		空気調和器修理		
		南斜花壇浄化槽放流ポンプ取替		
		屋外排水管用布設替		
H28	修繕	委託料	}	20,390,400円
		工事費		
		備品購入費		
H29	修繕	展示場天井扇取付業務	}	680,400円
		ホール客電調光盤取り替え		1,296,000円
		委託料		1,134,000円
		工事費		17,280,000円

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名	
一般		10	05	07	104530	新渡戸記念館企画展示事業	
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-5	芸術文化の振興				
	施策	2	先人の顕彰				
目的		新渡戸家及び新渡戸家ゆかりの先人とその業績を紹介する。					
対象		一般市民及び県内外の観光客					
意図		江戸時代以降、花巻の発展に貢献し、国際人・新渡戸稲造を生んだ新渡戸家を顕彰・紹介し、市民に花巻の歴史の一端に触れていただくとともに、併せて観光客にも本市をPRする機会とする。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○特別展の開催 (1,038千円) ・常設展とは別に、年間を通して特別展を3回開催。 ①「岩手における新渡戸稲造顕彰～組織・施設～」(4/20～8/31) ②「新渡戸家の女性たち～母・妻・姉たち～」(9/7～11/23) ③「収蔵展(ひな人形展)」(2/11～4/3) ・花巻市4館連携事業の共同企画展として「稲造の曾祖父・新渡戸維民」を開催(12/9～1/28)							
○教育普及事業 (186千円 イベント関係含む) ①市内の学校以外にも近隣の市外の学校にもPRし来館を促すとともに、出前講座を開催。 ②市内外の公民館に働きかけ、高齢者学級や婦人学級に活用していただくようにした。 ③一般の市民を対象にした「新渡戸教室」を開催。 ④参加者を公募し、新渡戸家ゆかりの地を訪ねる移動研修を開催。							
市民参画の有無 【 対象外 】							
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 行事開催数	回	計画			10	10	
		実績			10	10	
②		計画					
		実績					
③		計画					
		実績					
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 入館者数	人	目標			25,000	25,000	
		実績			14,707	13,118	
② 生涯学習に利用した小中学校数 ／ 市内小中学校数	%	目標			25	25	
		実績			27	27	
③		目標					
		実績					
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
○入館者数の推移 H27年度 14,302人(40人/日)、H28年度 14,707人(41人/日)、H29年度 13,118人(36人/日) ※ここ数年の現状をみると、団体客の減少に加え、冬期間の入館者が減少していることが入館者数減の大きな要因となっており、1日あたりの利用者は40人前後で目標値と大きな乖離がある。そのため、市内の小中学校等への働きかけや県内外への周知・情報発信に努めて、1日あたりの目標人数70人を目標として掲げた。 ○生涯学習に利用した小中学校数は、H29年度においても前年度と同様8校の目標に対して8校の実績であった。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
・教科書で知ることがきわめて少ない郷土史について、新渡戸家という切り口を通して江戸時代以降の花巻の先人や歴史を学ぶことができるということはすこぶる有益であると思われる。 ・また新渡戸稲造という傑出した人物を生んだ土壌が花巻にあることを県内外にアピールすることは、本市の大きなPRポイントにもなる。 ・一方、当館で実施しているアンケート調査では、展示内容及び施設環境にはかなり肯定的な意見が多いにも関わらず、知名度の点において劣っているのは否めない。このため今後、市内外に対して様々な媒体や機会を捉えてPRしていくことが必要と考える。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	07	104530	新渡戸記念館企画展示事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1, 247	1, 224		△ 23
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1, 247	1, 224		△ 23

※特定財源の内訳	

事業期間	単年度繰返	〇	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標				
芸術文化の振興を図ります。				
事業開始の背景・経緯				
江戸時代以降、花巻の地域開発に大きな足跡を残し、国際人・新渡戸稲造を生んだ新渡戸一族と同家とゆかりのある先人たちの顕彰・紹介するため、平成3年10月、新渡戸家ゆかりの地に開館した。				
事業概要				
○特別展の開催 (1,038千円) ・常設展とは別に、年間を通して特別展を3回開催。 ①「岩手における新渡戸稲造顕彰～組織・施設～」(4/20～8/31) ②「新渡戸家の女性たち～母・妻・姉たち～」(9/7～11/23) ③「収蔵展(ひな人形展)」(2/11～4/3) ・花巻市4館連携事業の共同企画展として「稲造の曾祖父・新渡戸維民」を開催(12/9～1/28)				
○教育普及事業 (186千円 イベント関係含む) ①市内の学校以外にも近隣の市外の学校にもPRし来館を促すとともに、出前講座を開催。 ②市内外の公民館に働きかけ、高齢者学級や婦人学級に活用していただくようにした。 ③一般の市民を対象にした「新渡戸教室」を開催。 ④参加者を公募し、新渡戸家ゆかりの地を訪ねる移動研修を開催。				
意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)				

担当部署 部名 生涯学習部 課名 新渡戸記念館 担当係長 菊池 喜一 内線 31-2120 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

●年間事業計画												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
企画 展示	特別展Ⅰ					特別展Ⅱ			共同企画展		特別展Ⅲ	
教育 普及・ イベ ント	会員(サポーター)募集											
	特別公演		移動研修			開館記念行事						
						新渡戸教室						

- ◆事業の概要
- 平成29年度事業 (1,224千円)
- ①特別展を年3回開催 (1,038千円)
 - ②イベント関係 (100千円)
 - ・春の特別公演、秋の開館記念行事
 - ③教育普及事業 (86千円)
 - ・一般を対象の新渡戸教室
 - ・出前講座、移動研修を開催

- ◆平成29年度の主な事業
- ①特別展Ⅰ 「岩手における新渡戸稲造顕彰～組織・施設～」
新渡戸稲造を顕彰する組織や施設について紹介。
 - ②特別展Ⅱ 「新渡戸家の女性たち～母・妻・姉たち～」
新渡戸稲造の母や妻等を取り上げ、新渡戸家の女性達を紹介。
 - ③特別展Ⅲ 「収蔵展(ひな人形展)」
新渡戸家や市内旧家に伝わるひな人形や花巻人形等を紹介。
2. 「新渡戸教室」の開催(教育普及事業)
- 目的
- ・稲造を始めとする新渡戸家の業績を広く市民に知らしめるとともに、改めて館の存在を周知させるため、教室を開催する。
- 内容
- 講演「教育者・新渡戸稲造が行った学校教育と社会教育」

- ◎事業費内訳
- 8節 100千円(イベント出演、講師謝礼)
 - 11節 407千円(チラシ・リーフレット印刷)
 - 12節 86千円(広告費、資料送付代)
 - 13節 631千円(展示パネル製作)

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名	
一般		10	05	11	104640	高村光太郎企画展示事業	
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-5	芸術文化の振興				
	施策	2	先人の顕彰				
目的	高村光太郎の紹介						
対象	市民、観光客						
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○高村光太郎に関する企画展示 高村光太郎記念館春季企画展「光太郎と花巻の湯」 高村光太郎記念館秋季企画展「智恵子の紙絵」 高村光太郎記念館講座「初夏の里山さんぽ～山口のくらし～」							
市民参画の有無 【 対象外 】							
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成		○委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）			単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	企画展示の回数		回	計画	1	2	
				実績	1	2	
②				計画			
				実績			
③				計画			
				実績			
成果指標（上記「意図」に対応）			単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	入館者数		人	目標	15,000	15,000	
				実績	15,425	13,530	
②				目標			
				実績			
③				目標			
				実績			
成果指標の達成度			目標値より高い	○	概ね目標値どおり	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
企画展については、好評だった企画を練り直して再度秋の行楽シーズンに併せて開催したが、天候に恵まれなかったことや、入館者とのやりとりの中で、意外に花巻と光太郎のかかわりについて知らない方々がいることから、認知度が高くないこと等が減少した一因として考えられる。ただ、入館者は減少したが、講座については好評だった。特に、講座は昨年度に整備された智恵子展望台を中心に散策する内容で、アンケート結果によると受講者の満足度は高かった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	☐ 妥当である	
	☐ 見直し余地がある ☐ 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	展示内容の充実を図ることにより、入館者が増加すると判断した。
	☐ 向上余地がある	
	☐ 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	☐ 事業費の削減余地がある	
	☐ 人件費の削減余地がある ☐ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	☐ 受益機会の見直し余地がある	
	☐ 費用負担の見直し余地がある ☐ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
高村光太郎の偉業を調査し広く市民へ紹介する機会を提供した。 芸術家 高村光太郎も愛した郷土に目を向け、故郷の良さを再発見し愛着を持つように努めた。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	11	104640	高村光太郎企画展示事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,840	1,249		△ 591
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,840	1,249		△ 591

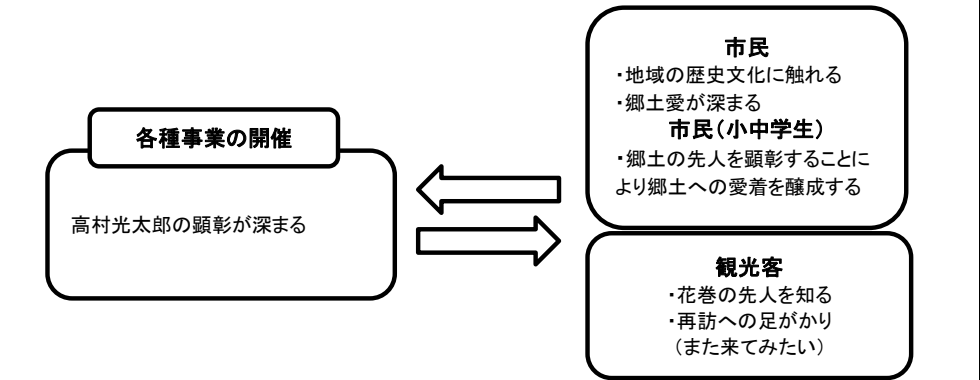
※特定財源の内訳	

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標				
芸術文化の振興を図ります。				
事業開始の背景・経緯				
彫刻家であり詩人でもある高村光太郎は、あらゆる芸術家たちとの交流をもちながら、自らの才能を開花させていった著名な文化人である。その業績を知りたいという要望は県内外から多く寄せられている。企画展示により、より光太郎の偉業を多面的に深く知ることができる。				
事業概要				
○高村光太郎に関する企画展示 高村光太郎記念館春季企画展「光太郎と花巻の湯」 高村光太郎記念館秋季企画展「智恵子の紙絵」 高村光太郎記念館講座「初夏の里山さんぽ～山口のくらし～」				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 前田佐和子 内線 418
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

旧歴史民俗資料館（S57建築）を高村光太郎記念館とし、公設民営として
高村光太郎生誕130周年の年である平成25年度に開館した。



①高村光太郎記念館春季企画展 「光太郎と花巻の湯」 561千円
太田村山口へ移住した光太郎の生活は持病の神経痛との闘いでもあり、光太郎を癒していたのは、花巻各所に存在する温泉であった。高村光太郎談話筆記「ここで浮かれ
台で泊まる/花巻」をもとにパネル展示にて解説し、当時の絵葉書、光太郎が使用した
風呂桶などの収蔵資料を併せて展示した。

○開催時期 平成29年4月14日～6月26日
○委託先：一般財団法人 花巻高村光太郎記念会
高村光太郎記念館春季企画展示業務委託 519千円（税抜）
・監修者謝礼 100 ・広告等印刷費 100
・監修者出張打ち合わせ 50 ・通信運搬費 20
・展示設営および展示作業補助員手番 64 ・雑費 15
・展示パネル等製作費 170

②高村光太郎記念館秋季企画展 「智恵子の紙絵」 670千円
H28年度開催された企画展「智恵子の紙絵」で、改めて智恵子の人気の高さを実感した。よって、H29年度も智恵子が亡くなった「レモン忌」(10/5)に合わせて開催した。
詩集「智恵子抄」等に関連した収蔵資料も併せて展示し、H28年度よりも充実した展示
ができた。

○開催時期 平成29年9月15日～11月27日
○委託先：一般財団法人 花巻高村光太郎記念会
高村光太郎記念館秋季企画展示委託業務 620千円（税抜）
・展示設営および作業補助員手配費 96 ・広告物等印刷費 150
・投影映像作成費 200 ・通信運搬費 20
・パネル等製作費 130 ・雑費 24

③高村光太郎記念館講座「初夏の里山さんぽ～山口のくらし～」 18千円
光太郎作品を生み出した自然と、新しくなった智恵子展望台、円万寺(眺望)、
昌歙寺などゆかりの地を巡った。
消耗品 18千円